

施工例

スレート屋根・壁



施工前



施工後

金属屋根



施工前



施工後

【スレート屋根標準仕様】

工程	製品名	塗装回数	塗装方法	使用量(kg/m ²)	塗装間隔
下地調整	ほこり・苔類の除去、劣化箇所の補修・取替え				
下塗り	浸透プライマー	1	吹付け・刷毛・ローラー	0.35	1時間以上
主材塗り	ケミカルカチオン主材	1	吹付け	1.50	12時間以上
上塗り	トップコート	2~3	吹付け・刷毛・ローラー	0.40~0.50	1時間以上

ムライケミカルパック株式会社
MURAI CHEMICAL PACK Co.,Ltd

<http://www.murai.co.jp>

本社・工場 〒830-0053 福岡県久留米市藤山町696-5
TEL 0942-21-7667 FAX 0942-22-4570
E-mail: info@murai.co.jp

福岡営業所 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-14-1
スフィクス・センター4F
TEL 092-474-1618 FAX 092-413-2015

東京営業所 〒112-0002 東京都文京区小石川1-16-1
玉屋ビル3F
TEL 03-3816-7667 FAX 03-3816-7669

MEMO



経済産業省九州経済産業局認定

- 中小企業異分野連携新事業分野開拓（新連携）
「従来にない強化・断熱複合塗料の製造・販売・施工」
- 中小企業創造活動促進法（中小企業創造法）認定
「屋根及び外壁用反射断熱材・補強用複合塗料」

ケミカル カチオンパック工法

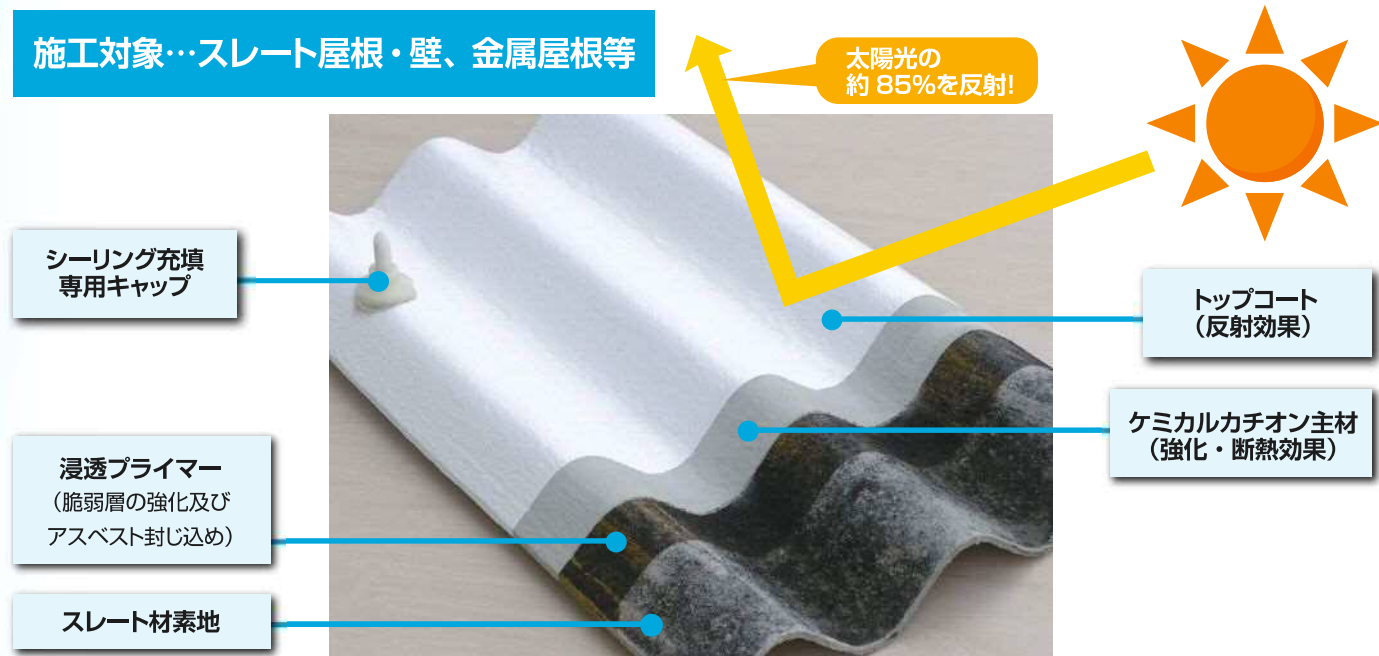
老朽化したスレート屋根・金属屋根等の強化・遮熱断熱塗料

建造物用塗料の企画開発から 製造・施工まで一貫して取り組む特殊塗料メーカー

ムライケミカルパック株式会社
MURAI CHEMICAL PACK Co.,Ltd

老朽化したスレート屋根・金属屋根等の強化・遮熱断熱塗料 ケミカルカチオンパック工法

施工対象…スレート屋根・壁、金属屋根等



施工工程 (施工は外気温5℃以上から可能)



ケミカルカチオンパック工法の主な特徴

- 遮熱断熱効果で熱中症対策・電力削減**
 夏場、施工前後で温度比較をすると、スレート屋根表面で-25℃、金属屋根表面で-30℃、更に室内では-4.0℃の遮熱断熱効果があります。施工後15年経過しても遮熱断熱効果は10%程度しか低下しません。省エネ、CO₂削減が可能な環境対応型塗料です。(効果は立地条件等により異なります)
- スレートに含まれるアスベスト繊維の飛散を抑制**
 平成18年まで一部のスレートにアスベストが含有していました。ケミカルカチオンパック工法は、アスベスト繊維を封じ込め、健康被害や環境汚染を防止します。
- 台風対策・スレートの長寿命化**
 スレートは経年劣化とともに強度が低下し、破損しやすくなります。ケミカルカチオンパック工法は、スレートの強度を20~30%回復でき、建物を長寿命化します。
- 工場等を操業しながらの施工が可能**
 当社は、既存屋根に特殊コーティングを行います。葺き替え工事とは異なり、操業しながらの施工が可能です。
- 遮音効果**
 金属屋根の雨音等の騒音を約10db軽減します。
- 高い防錆効果**
 防錆効果により金属屋根・フックボルトなどの錆の進行を防ぐことができます。

- 老朽化した外観をリフレッシュ**
 経年劣化した屋根・壁を特殊コーティングすることにより、美観を回復します。企業イメージのアップに繋がります。
- メンテナンスサイクル**
 ケミカルカチオンパック工法は、浸透プライマー+ケミカルカチオン主材+トップコートからなる3層構造になります。メンテナンスは、15年後にトップコートのみ再塗装を行います。
- 建築確認申請の届け出は不要**
 建築基準法における大規模修繕及び大規模模様替に該当しません。

サーモカメラにて撮影

